

じゃがいも

1 作型

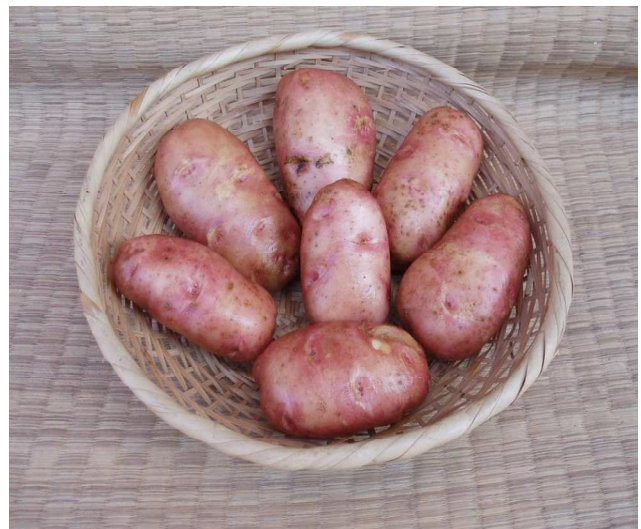
月	1			2			3			4			5			6		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作	中間地(春作)																	
型	高冷地(春作)																	

月	7			8			9			10			11			12		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作	中間地(春作)																	
型	中間地(秋作)																	
	高冷地(春作)																	

：植えつけ ：収穫

アピールポイント

- ・収穫時期：6月中旬～10月上旬、11月中旬～12月上旬。
- ・病害虫の発生が比較的少なく、省農薬でも生産が可能です。
- ・デンプンが主体ですが、ビタミンCや食物繊維を豊富に含みます。
- ・用途に合わせて多種多様な品種が栽培されています。
- ・標高差を利用し、長期出荷が可能です。



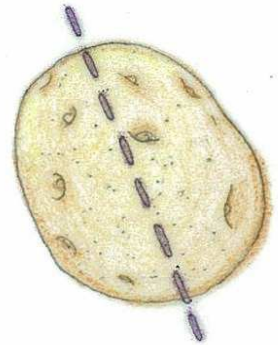
2 各作型のポイント

(1) 中間地(春作)、高冷地

食味や用途に応じて品種を選びます。ウイルスに感染していない種いもを確保するため、種いもとして市販されているものを用います。

60g以上の種いもは1片が30～40gになるよう縦に切り、切り口を乾燥した後、断面を下にして植えます。

梅雨期には疫病が発生しやすくなるため、早めに防除を行います。また、生育期間中にアブラムシ、テントウムシダマシ類などが発生した場合には防除が必要です。



種いもの準備

(2) 中間地(秋作)

休眠の浅い品種(デジマなど)を用います。

種いもは30～40gのものを切らずに用います。暑さに弱いので早朝の涼しいときに植えて、地温の上昇を防ぐために敷きわらをします。霜の降りる前に収穫します。

(3) 各作型共通

アルカリ性土壌ではそうか病が発生しやすいため、石灰資材を多用しないようにします。

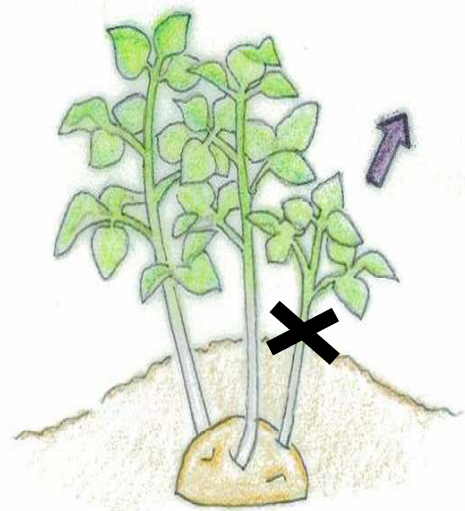
芽の数が多いと小さいものが増えるので、芽が10cm程度に伸びたころ芽かきをします。種いもが動かないように株元をおさえて、1株に1～2本の生育の良い芽を残し、他はかき取ります。

収穫までに2～3回に分けて追肥と土寄せをします。

開花2～3週間後から収穫できるようになるので、試し掘りをして適期に収穫します。

雨が降った後など畑の水分が多いときに収穫すると、収穫後にいもが腐りやすいので、収穫作業は畑の乾いているときに行います。

茎葉が黄色くなるころにいもは完全に肥大し、収穫適期を迎えます。掘り起こして日陰で表面を乾かします。



芽かき